

# ジャックの樹新聞 グリーンパル日向神峡1泊2日の旅♪ H25 8月28日～8月29日

夏休みもいよいよ最終週、それぞれに夏の思い出もすっかりと作ったことでしょう。そこに重ねるように、夏休み最後の最後、ジャックの樹でもキャンプを行いました。

今回は社会人から中学生までのメンバー六名、ジャックの樹スタッフ四名で八女郡黒木町にある「グリーンパル日向神峡」というキャンプ場へ行ってきました。

キャンプの参加が初めての青年、複数回目で慣れてきた青年：それぞれに思いを持って集合してくれました。渡辺号と永田号に分かれて車へ乗り込みいざ出発！！

車内ではお喋りや歌でノリの青年たちと、街中から徐々に緑へと変わっていく景色を眺めている青年たち、というようにそれぞれのやり方でキャンプへ向けて気持ちを準備しながらのドライブとなりました。



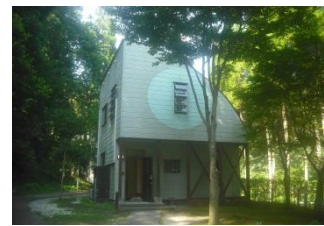
八女エリアに入り、地元のスーパーでキャンプに必要な食材の買い出しを行いました。スーパーは言わば「地域社会」そのものです。スタッフや

参加したメンバー同士はもちろんの事、店員さん、他のお客さんとも関わり合うチャンスです。走ったりすれば迷惑であったり、危険もあるかもしれません。そういう場でルールを守る、ということの練習として日頃のプールがあるのです。その力を発揮する場という訳ですね。お互いに意識し合い、お互いに理解し合い、協力し合うことが求められます。

買うものを絵カードとして用意しているの、それを確認しながら必要な食材を買い物カゴへ入れて、袋詰めをしていきます。いつもと違うメンパーといつもと違う場所です。買い物。とても楽しいものでしたね。



さあ、買い物を無事に終え、残りの道を一気にキャンプ場まで進めます。



キャンプ場に到着して荷物の整理をみんなで行ないます。キャンプの醍醐味は何と言っても「自分たちでする」ということでしょう。ジャックの樹のキャンプでもその要素はしっかり組み込んでいます。自分たちの荷物、キャンプ用品、先ほど買った食材：手伝い合って荷物整理です。自分でやるからこそ得られる達成感というのがありますよね。それが得られたらキャンプは大成功だと私たちスタッフは考えています。

さて、一息ついてキャンプ名物となりつつあるアート活動です。今回は、こちらが用意した白いティッシュに布用絵の具で絵付けを行います。紙を切り抜いて作った型を使い、色を乗せていく青年もいれば、筆で

大胆に表現していく青年もいました。個性に満ちた作品に仕上がりました。何か目の前にある物に集中して取り組むというのは、ものすごいエネルギーの要ることですよね？そのエネルギーを絵として表現していくのですから、それは素晴らしいものにならないはずがありません。「失敗」なんてことはなく、「ありのまま」が表現できれば良い。そんな思いでキャンプのスケジュールにアートという活動時間を組み込んでいます。

(記・永田 淳哉)





アートを満喫した後は、いよいよ夕食作りです。今夜のメニューはドライカレーとラッシー♪ちよっと大人の雰囲気なカレーメニューに挑戦です。カレー班は食材の下処理からスタート。玉ねぎ・ニンジンの皮をむいて、ピーマンの種をとって。最初は慣れない手つきでしたが、要領をつかめば、次々と♪続いては、具材を細かく細かく。包丁とみじん切り用の調理器具、時には手を使いながら(笑)そして、具材を切り終えた後は、炒めて水分を飛ばしていき

ます。みじん切りにしても、水分を飛ばす作業にしても時間をかけながら、根気がある工程。でもちゃんと手をかけて作った料理だからこそ、とってもおいしく仕上がるんですね♪普段の食事に感謝しながら、最後まで根気よく気持ちを繋げながらのドライカレー作りでした。



ラッシー班は、ミキサーに牛乳入れて♪生クリーム、はちみつ、ヨーグルトも入れて♪普段なかなか飲まない飲み物。上手に出来るかなとドキドキしながらスイッチオンです。新しい事にチャレンジする初めての1歩ってドキドキしますが、でもチャレンジしたご褒美っていつもあるように思います。今回もとてもおいしいラッシーがもちろん出来上がりましたよ♪



そして、火おこし班がバーベキューコンロの火おこしへ。カレーなのになぜ火おこしが必要なんだろう??と思われる方もいらっしやいますよね(笑)そう!!今回はただのドライカレーでは終わりません。

自分達特性のトッピングドライカレーなので♪炭火を使い、お肉をじっくりと焼いていきます♪焼きあがるまでの時間はみんなでベランダに出て、ゆったりと。そして次々とテーブルにトッピングの鶏肉・ウィナー・コーン・チーズ・ゆで卵が並び準備は完了!!自分のドライカレ

ーに好きな具材を入れて、冷たいラッシーを傍らに置いて、ではいいただきま〜♪食べ始めるとみんな黙々と。つられて私もパクリ。あらおいしく、みんなでじっくりと時間をかけて作っただけの成果が♪みんな黙々と食べる訳ですね(笑)森林に隣接しているベランダに出たの食事だったので自然の気持ち良さも味わいながらの食事でした。でもおかわりは忘れずに(笑)十合炊いたお米もたくさん作ったドライカレーも完食でした(笑)食事のペースはそれぞれ、でも食後も部屋に帰るわけではなく、わいわいとおしゃべりを楽しんだり、一緒にふざけあったりと仲間と一緒に過ごす空間を大切に過ごしました。やっぱり人と過ごすって楽しいなあ〜と思えるあったかい空間でしたね。



食後はみんなで後片付け。片付けの場面でもしっかりとご家庭でやっていることを發揮してくれる青年や、気持ちを繋げる事が上手になっていく青年の姿が見られましたよ。そして片付け後は、一人一人と入浴へ。ダイニングでは、いつの間にかアカペラによるカラオケタイムが(笑)お風呂に入ったのに汗かいているじゃないですかと突っ込みたくなるノリでしたね(笑)周りの青年もその雰囲気を楽しんだり、人と一緒に過ごしたい気持ちを自分なりに表現したりと、最後まで仲間と一緒に過ごす事を味わって一人、一人と床に就いていきました。おやすみなさい。また明日みんなと楽しもうね♪



2日目の朝、昨夜からの雨が降っていて、朝も小ぶり。朝の散歩どうしようかなあ、雨が止まないかなあど空を見上げていると、なんと止ん

だではないですか！！普段の行いがいい証拠ですね（笑）ということとで予定通り、6時に起床♪着替えを済ませ、朝の散歩へ出発。ダムの際にあるグリーンパル日向神峡ならではの幻想的な雰囲気味わいながら、ゆったりと朝の気持ちよさを満喫できる散歩コースへ。みんなも気づけば、小川の流れを見つめたり、周りの風景を眺めたりとほっこりとした気持ちになっているようでした。



そして散歩後は朝食タイム。今回は竹若下がコック長として、今日の朝食づくりを担当♪焼き鮭に卵焼き、野菜とウィンナーの炒めもの、味噌汁、ごはん朝食らしいバランスの取れたメニューが食卓に並びました♪みんなで1つのテーブルを囲んで

の朝食。朝らしいゆったりとしたペースで食事をいただきました。食事の終盤にはエンジンがかかってきたようで、やはりワイワイと賑やかになっていました（笑）2日間過ごした仲間同士気兼ねない雰囲気での朝食の時間となりました♪



朝食後はみんなで片づけを済ませ、2日間お世話になったグリーンパル日向神峡の管理棟の方へ挨拶に。そして帰路へ。帰りの車では、2日間やりきって熟睡している姿やまだまだ帰日も楽しもうよ！といった表情を浮かべせたりとそれぞれの気持ちを車内に乗せてのパヒョンプラザまでのドライブでしたね。

2日間のキャンプでしたが、仲間と一緒に何かをやり遂げる事や一緒に過ごす事をじっくりと味わえたキャンプだったように思います。仲間と何かをするってやっぱり楽しいなあと私自身も彼らから学ばせてもら

ったように思います。自分が自分らしく、あなたがあなたらしく、一緒に何かを行う。背伸びをするわけではなく、時には仲間の胸を借りながら等身大の自分自身で人と繋がって、人と過ごす事を楽しみながら、味わいながら一緒に成長できるって素敵ななあと思います。そしてそんな人との繋がりを築けるキャンプにまたみんなと出れることを楽しみにしています。

2日間の素敵な時間をありがとう！！また一緒に楽しみましょう★

（記・鈴木 和加菜）

**保護者の方からの声♪**

ジャックの樹のキャンプを経験させて頂くことを、とても感謝しています。二度目のキャンプでしたが、前回同様、親子で大丈夫かなとドキドキの参加でしたが、少しずつ成長していることが、ちゃんと実感でき、うれしく思います。

普段は、我慢できない事も親から離れて、関わる人も友達や親以外の人達だからこそ、一緒に頑張れるし、そんな時間も必要だと感じます。アト活動も今回は何かしらと楽しみにしていました。我が子らしい、温

かい作品になってましたね☆

気持ちにしっかり寄り添って頂いている事、本当にありがとうございます。帰ってきてからの言葉での話は聞けません、とても穏やかに落ち着いている様子を見ると、頑張っ

て楽しめたんだと思いました。これから色々な経験を少しずつ重ねて、我が子らしく成長していくてくれることと思います。最後に私（母）もりフレッシュしました！

清水 浩且 母



今回キャンプ初参加です。表情がとても穏やかで機嫌よく帰って来たので、すごく楽しめて、充実した時間だったのだと思います☆先生方にも晃矢の色々な一面を知って頂けて、母はとても嬉しく、心強く思います。

この様な機会を作って下さってありがとうございます。今後とも、よろしくお願いします。

伊藤 晃矢 母



# ジャックの樹スタッフのキャン

## 「キャンプを通じて」

今回のキャンプはいかがだったでしょうか？自然の山や川に囲まれての色々な活動の楽しさが、子供たちの表情に出ていたように感じます。

一緒に食事やアート活動また、夜空の星を見たり、歌を歌ったり楽しいことも多くありましたが、何より子供たちと生活を共にすることで、日頃感じることが出来なかった一面が見られたことをとても嬉しく思いました。困っている友達を助けようとする「やさしさ」、頼まれたことを直向きに一生懸命に取り組む「責任感」や「誠実さ」、成長しようという「たくましさ」に感心し、私自身も勉強することが多くありました。今後のプール指導を通じて、社会に巣立つために少しずつ成長していこうと日々努力する生徒たちに将来役立つことが少しでも伝えていければと考えております。この度のキャンプへの参加、有難うございました。

ジャックの樹 竹若 勇一

「やりたい！」「でも」出来るかなあ・・・

今回のキャンプいかがでしたか？キャンプを振り返るとある思いを思い出しました。

何かに初めてチャレンジする時「やりたい！」でも「出来るかなあ・・・」と期待や不安が入り混じった気持ち・・・その気持ちが無意識のうちに心の中で動きだしてしまっただことありませんか？

その気持ちが 心から溢れだすと心や体が緊張し固まって行って・・・そんな時 私は自分の幼少期を思い出しました。

私は 未熟児で生まれ 四か月間入院していました。ですからオッパイを飲むことなくミルクで育ち一そのせいなのか良くわかりませんがなかなか言葉がでませんでした。

幼稚園に入園しても自分の気持ちを周囲に伝えることができず、「オシッコに行きたい」と伝える事さえできませんでした。歌やお遊戯もみんなについていけず 毎日毎日 練習する日々・・・おまけに 喘息もあり 運動もできません。

小学校に入ってからも話をしようとするとい「声が出ない」話しか

けられると「体が固まって硬直してしまっ」相手から強く要求されればされるほど 自分の気持ちや思いがだせなくなり、体も動かなくなってしまうのです。

そう 私も確かに「やりたい」気持ちと「できるかなあ」と不安な気持ちが交差していました。

そんな時に 私の気持ちを読み取り寄り添いながら自信を付けていってくれたのは・・・ある一人の先生との出会いでした。その先生の御蔭で少しずつ自分の気持ちを相手に伝えたり、みんなの中で行動をとれるようになったのです。

現在も指導中に そんな時の頃の体験を思い出しながら「あなたはあなたのままのペースで歩いていてもいいんだよ・・・」と伝えていています。

これからも ジャックの樹での活動を通して「ひとりひとりに合った」指導を目指しながら個性を大切に伸ばしていきたいと思えます。

ジャックの樹・主宰・渡辺 千秋

### 「ジャックの樹」ってどんなところ？

障がいがあっても地域の中で自分らしく生きていきたい。そんな普通の願いを叶えるためには、小さい頃から自立するための技術や精神、体力を身に付けることが必要です。その療育活動をサポートしていくのが、地域密着型余暇支援活動組織「ジャックの樹」です。

<http://jacknoki.com/>

手作りTシャツと思い出をお土産に♪

